

# 次期森林計画についての森林管理署の検討方向

## — 目 次 —

- 1 現行計画の概要
  - (1) 国有林野の管理経営に関する基本的な事項
  - (2) 国有林野の維持及び保存に関する事項
  - (3) 林産物の供給に関する事項
  - (4) 国有林野の活用に関する事項
  - (5) 国民参加による森林の整備に関する事項
- 2 次期計画の検討方向

宮崎北部森林管理署

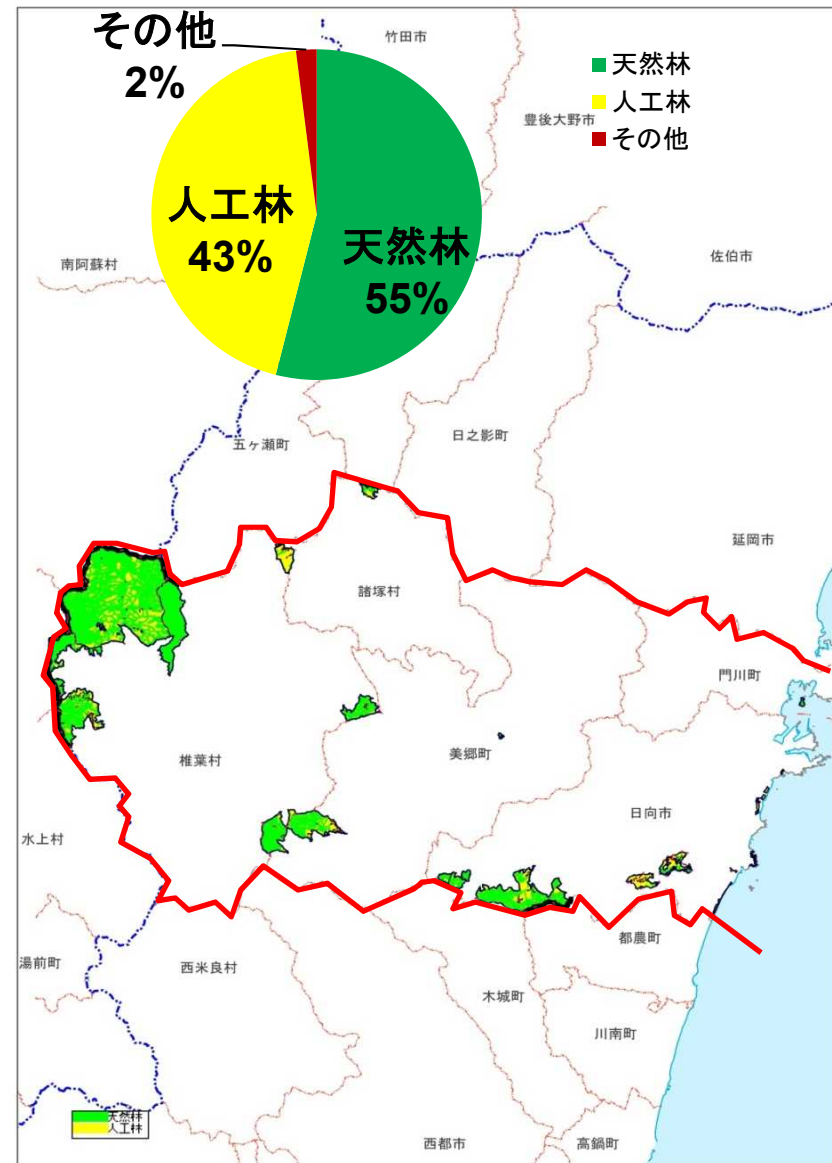
# 1 現行計画の概要(平成28年4月1日～令和3年3月31日)

耳川森林計画の対象は、県北部に位置し、耳川流域を包括する日向市、東臼杵郡の2町2村からなり、椎葉団地と美郷団地及び日向灘に近い低山地帯の小団地から形成されており、その面積は12,085haです。

国有林は計画区内の全森林面積の8%にあたり、天然林が55%、人工林が43%を占めています。

水源かん養保安林が全体の95%に達し、日向市の水がめとして重要な役割を担っているほか、登山などの森林レクリエーションや保健休養の場として多くの人に利用されています。

ブナ、ナラ類等の天然広葉樹林、スギ、ヒノキ等の人工林を主体とする林相等からなっています。



# (1) 国有林野の管理経営に関する基本的な事項

## ① 機能類型に応じた管理経営

国有林野の管理経営に関する基本計画に即して、開かれた「国民の森林」に向けた取組を推進するため、個々の国有林野を重点的に発揮すべき機能に応じて、5つの機能類型に区分し、それぞれの発揮すべき機能に応じて管理経営を行っています。

機能類型区分(面積)	機能類型区分の考え方	目指すべき森林の姿
山地災害防止タイプ (2, 707ha)	山地災害の防止及び土壌保全機能の発揮を重視	根や表土の保全、下層植生の発達した森林
自然維持タイプ (2, 105ha)	原生的な森林生態系や希少な生物の成育・生息する森林など属地的な生物多様性保全機能の発揮を重視	良好な自然環境を保持する森林、希少な生物の育成・成育に適した森林
森林空間利用タイプ (149ha)	保健、レクリエーション、文化機能の発揮を重視	保健・文化・教育的利用の形態に応じた多様な森林
水源涵養タイプ (7, 124ha)	水源かん養機能の発揮を重視	人工林の間伐や伐期の長期化、広葉樹の導入による育成複層林への誘導を図る森林であり、森林資源の有効利用にも配慮

# (1) 国有林野の管理経営に関する基本的な事項

## ② 流域管理システムの下での森林・林業再生に向けた貢献

県・市町村等との密接な連携を図るとともに、組織力・技術・資源を活用し、民有林経営の支援等に積極的に取り組みます。

民有林と強調した効率的な森林整備を推進するための協定を締結しています。

連携強化のため地元自治体と意見交換会を積極的に実施しています。



民有林と国有林が隣接する椎葉村松尾・下福良地域の森林に「共同施業団地」を設定し、関係者が連携して路網整備や森林整備を行い、スケールメリットを生かした作業の低コスト化や安定供給体制の強化を図るため協定を結びました。

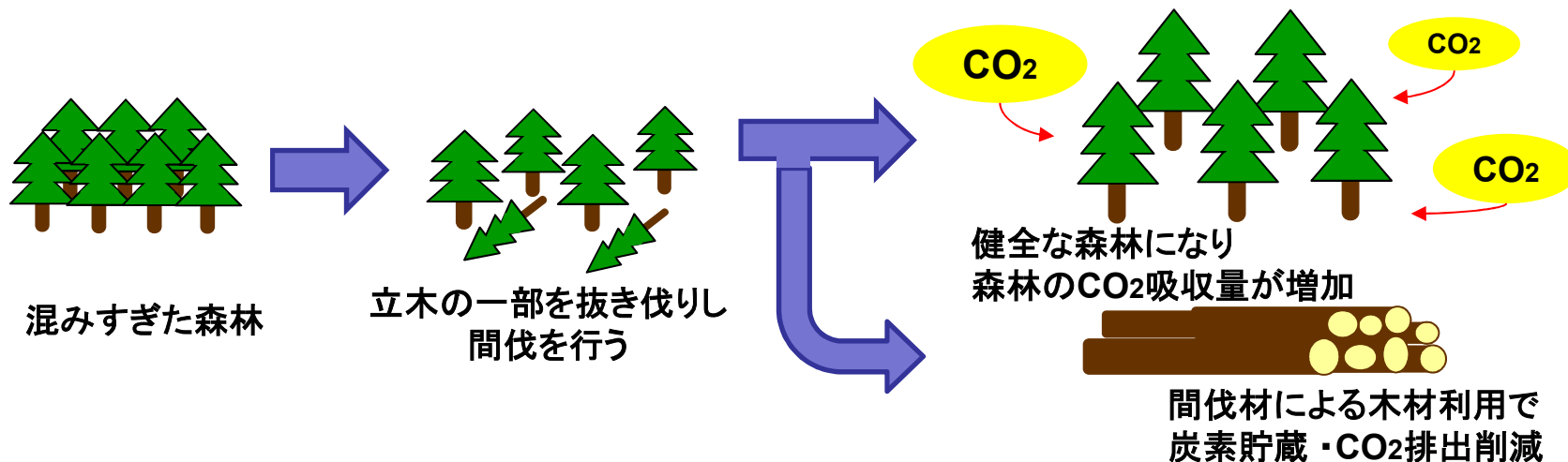


宮崎県の出先機関と山村地域の再造林の推進・活性化等に向けた取組や、国有林の事業量及び低コスト化に向けた意見交換を実施しています。

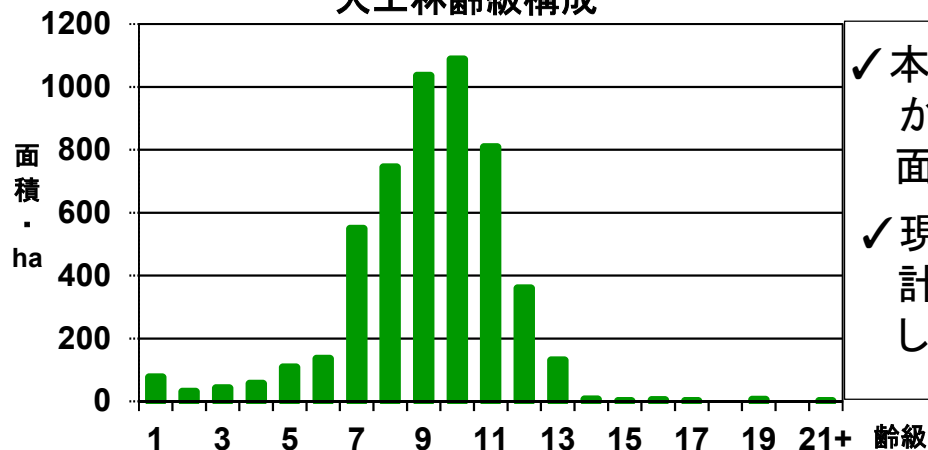
# (1) 国有林野の管理経営に関する基本的な事項

## ③ 地球温暖化防止に向けた積極的な間伐等の推進

適切な間伐を行い、森林による二酸化炭素の吸収量の確保を図るとともに、間伐材による木材利用の拡大で炭素の貯蔵及び二酸化炭素の排出削減に向けた取組を推進しています。



人工林年齢構成



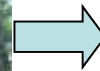
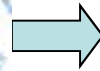
- ✓ 本計画区の人造林の面積は約 5,205haで、16年生から60年生の人造林の面積は約4,734ha（人造林面積の約91%）です。
- ✓ 現行計画（H28年度～33年度）では間伐を約3,623ha計画しており、森林吸収源対策のためにも間伐を推進しています。

※ 宮崎北部森林管理署 耳川流域森林資源の現況 平成30年度末現在

# (1) 国有林野の管理経営に関する基本的な事項

## ③ 地球温暖化防止に向けた積極的な間伐等の推進

間伐をはじめとした森林整備に積極的かつ着実に取り組むとともに、針広混交林化、複層林化、長伐期化などを通じて、多様で健全な森林の整備・保全を推進します。



林地生産力が低く、急傾斜で車道から遠いなど自然的条件も悪い人工林は針広混交の育成複層林に誘導

## (2) 国有林野の維持及び保存に関する事項

### ① 生物多様性の保全(保護林)

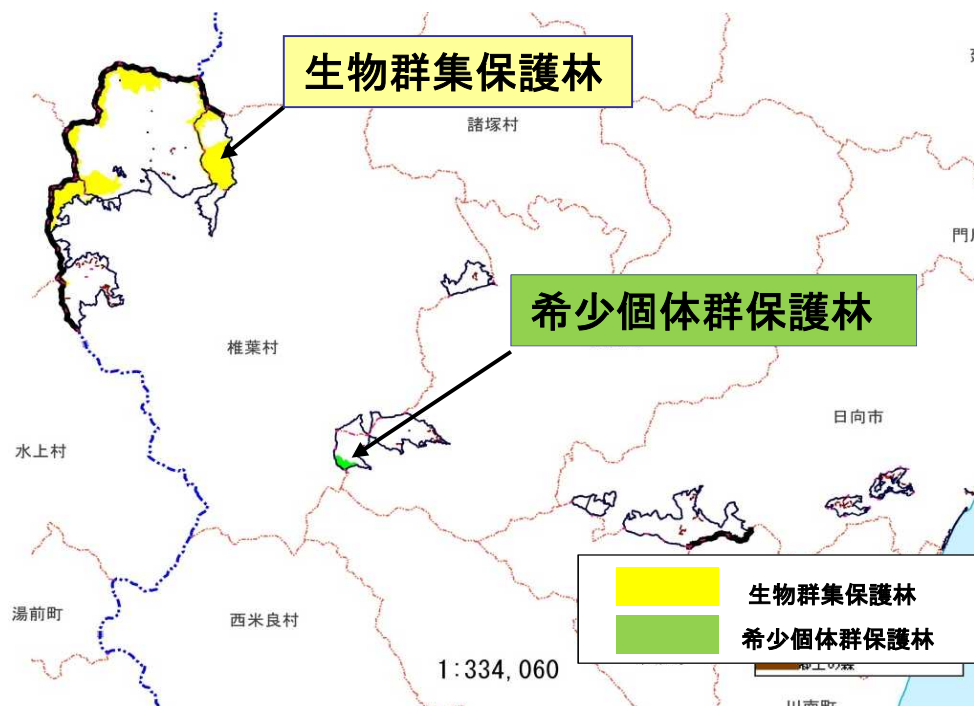
本計画区には貴重な天然林等が多数存在しており、これらについては保護林を設定し、適切に保護・保全を図っています。



生物群集保護林



希少個体群保護林



種類	名称	目的	面積ha
生物群集保護林	九州中央山地	九州中央部に連なる脊梁部のブナ林主体の落葉広葉樹林が広がる多様な生態系を擁する区域で、これら地域固有の生物群集を保護・管理することにより、森林生態系の維持、野生生物の保護、遺伝資源の保護等に資することを目的とする。	1,994
希少個体群保護林	檜葉アカマツ等 遺伝資源	アカマツ、ヒメコマツ、コウヤマキ、ミズメ、ミズナラ等の保存。	51

## (2) 国有林野の維持及び保存に関する事項

### ② 国民生活の安全・安心の確保に向けた効率的・効果的な治山事業の展開

安全・安心の確保に向けた効率的・効果的な治山対策に取り組んでいます。



航空実播工

豪雨等により崩壊した林地を緑化する手段として、種子を混合した植生基材をヘリコプターで散布。



谷止工

型枠は、残存型枠を施行し木材利用の推進に積極的に取り組んでいます。



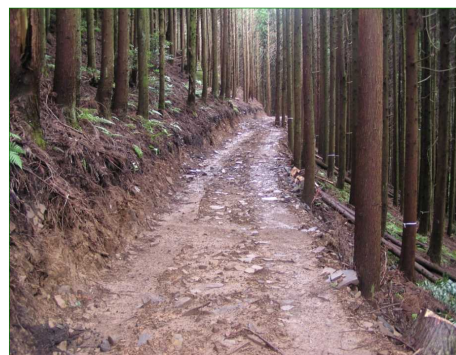
### (3) 林産物の供給に関する事項

#### 高効率・低コストな作業システムの定着

伐採、造林等の事業の実施の効率化を図りつつ、健全な森林の整備とともに、木材の需要動向や木材産業の状況等を的確に把握しつつ、国有林材の安定的な供給を推進しています。



集成材工場や合板工場、製材工場等の原材料となる木材を安定的に供給する「システム販売」を推進しています。



林業生産コストの削減を図るため、簡易で崩れにくい路網の整備を推進しています。

コンテナ苗の特徴(植栽時期が限定されない・植付効率の向上・良好な成長)を生かした誘導伐施業と植付の同時発注による低コスト造林を推進しています。



コンテナ苗



誘導伐施業箇所

## (4) 国有林野の活用に関する事項

### レクリエーションの森の保健・文化的利用の推進

優れた自然景観を有し、森林浴や自然観察、野外スポーツ等に適した森林をレクリエーションの森として設定し、地域の方々に提供しています。

種類	名称	概要	面積 (ha)
風景林	乙島	乙島風景林は、門川町の門川湾内にある周囲4kmの無人島であり、暖帯性植物の群生と展望所からのリアス式海岸が織りなす自然美や太平洋のパノラマを楽しむことができます。 また、島内の周囲には多くの海蝕洞窟穴がみられ、その中でも「茶屋の大門」は高さ14m、幅8m、奥行き63mにも及び、全域が日豊海岸国定公園第二種特別地域、魚つき保安林にも指定されています。	17



乙島風景林



種類	名称	概要	面積(ha)
風景林	日向海岸	日向海岸風景林は、太平洋に面した海岸沿いに位置し、一部リアス式海岸を除き全般に白砂の標高5m~20mの平坦地です。紺碧の海に黒潮の渦巻く太平洋海岸の奇窟怪礁と白砂青松の一連の海辺景観は松林の青、海の碧、空の青が渾然一体となって広大な大自然を展開しています。	64



## (5) 国民参加による森林の整備に関する事項

### 国民参加の森林づくりと森林環境教育の推進

国有林野をフィールドとした国民参加の森林づくりを推進しています。

地元ボランティアの方々と協力して海岸林の保全を図っています。



地元ボランティア団体にフィールドを提供し、協働して、海岸林のマツクイムシ被害地の植樹・保育を行い白砂青松の復元に取り組んでいます。

地域の自治体等と協力して森林環境教育のプログラムや教材等の提供を積極的に推進しています。



国民参加による森林の整備・保全等に関する情報の提供、国民からの相談への対応、国民参加の支援を行う拠点としての機能を発揮するよう努めています。

## 2 次期計画の検討方向

### (1) 公益重視の管理経営の一層の推進

本計画区では、国有林野の森林の多面的機能を持続的に発揮させるため、森林吸収源対策として必要な間伐の実施や主伐及びその後の計画的な更新など適切な森林施業を推進するとともに、これらの取組を効率的に実施するために必要な林道等の路網整備を進めます。

### (2) 森林・林業再生に向けた貢献

民有林への普及を念頭にした林業の低コスト化等に関する先駆的手法を積極的に導入するとともに、国有林野の管理経営や民有林において、低コストで効率的な施業が普及・定着するよう取組みつつ、木材を計画的・安定的に供給することを通じて地域振興に貢献していきます。

### (3) 「国民の森林」としての管理経営、地域振興への寄与等

国民共通の財産である国有林野を、名実ともに「国民の森林」とするよう公益重視の管理経営を一層推進するとともに、山地災害の防止、水源の涵養、自然環境の保全、保健・文化・教育的利用、木材の安定供給等を通じて地域振興に取り組めます。